授業デザイン

教科・科目：情報・情報の科学　　令和２年９月１０日（木）

実施学級：１年６組
実施場所：パソコン室
単元名：メディアの発達（本時３／３）

１　本時の指導目標	メディアの発達とコミュニケーションの形態の変遷について理解し、状況に応じて適切にメディアを使い分けられるようになる。 • メディアの発達とともに、人々の生活が変化してきたことについて関心を持つ。【関心・意欲・態度】 • メディアの発達とコミュニケーションの変化とを関連づけて考えることができる。【思考・判断・表現】
２　本時の手立て	• 事前に調べ学習として、自分の気になったメディアについてレポートにまとめさせる。→概要、どのような技術なのか、今使われていないメディアについてはなぜ今使われていないのか等を A4 レポート用紙１枚にまとめさせる。（手書き・ワードどちらでも可） • グループを作り、それぞれが調べてきたメディアについて教え合わせる。 • スマートフォンが使えない場面を想定しグループディスカッションを行わせる。
３「深い学び」に導くための問い	スマートフォンや携帯電話がない時代を想像して、複数人の友人と遊園地に行くときの待ち合わせ方法を考えよう。
	問いのレベル **□Ｉレベル　Ideas　知識、技能の習得** （基本的な事項、基礎的な事実関係、定義、基本的な概念等を確認するような問い） **■Ｃレベル　Connections　既知の知識・概念や他領域とのつながり** （教科の既習内容、他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを理解させる、あるいはそれらとつなげて説明させるような問い） **□Ｅレベル　Extensions　応用、活用** （学んだことを全く新しい状況に応用させるような問い。答えが一つに定まらない問い。リアリティがあり、他者性を前提とした問い）

４　学習の展開

学習活動		指導上の留意点	評価方法
導入	○本時の目標を理解する。 **情報の伝達とメディア** ○メディアとは何か、どのようなものがメディアかについて考える。	○手が止まっている生徒には、「○○メディア」や「メディア○○」のような言葉から連想できるものを書くように指導する。	

展 開	**情報の伝達とメディア** 〇メディアについて理解する。 ・情報を記録するメディア ・表現メディア ・伝達メディア ・マスメディア 〇情報とは何か理解する。 **記録して伝える技術** 〇メディアの役割とその歴史について理解する。 〇現代では、情報をデジタル化する技術が開発され、ほとんどの情報は同じメディアで記録・伝達できるようになったことを理解する。 **通信技術の発達** 〇通信技術の発達により、「より多くの情報を、より遠くに、正確に、速く」伝えられるようになったことを理解する。 〇インターネット登場の経緯について理解する。 〇4 人グループを作り、自分たちがそれぞれ調べてきたメディアについて教え合う。 〇話し合った内容を共有する。 **コミュニケーションの変化とメディアリテラシー** 〇メディアリテラシーを学ぶことの重要性を理解する。 〇スマートフォンや携帯電話がない時代を想像して、複数人の友人と遊園地に行く時の待ち合わせ方法を考える。 〇話し合った内容を共有する。	〇自分が書き出したメディアが、それぞれどのメディアに分類されるか考えさせる。 〇情報のデジタル化（音・画像）の復習も兼ねる。 〇通信技術の発達が、社会に及ぼした影響の例として、「のろし」の開発で戦いに有利になったことを挙げる。 〇教科書 44 ページからはインターネットの仕組みについて詳しく学習していくことを説明する。 〇事前にレポート課題として調べ学習をさせておく。 〇数人を指名し、気付きや感想を発表させる。 〇インターネットの普及により、情報伝達のハードルが下がったことを説明する。 〇どのように情報交換するか、代わりに使うメディアについて考えさせる。 〇数人を指名し、気付きや感想を発表させる。	レポート プリントの記述

まとめ	○本時のまとめを聞く。 ・メディアの特性 ・メディアリテラシー ○本時の振り返りを行う。 ○プリント、レポートを提出する。	○本時のまとめを行う。 ○プリント、レポートを回収する。	